

平成21年度病虫害発生予報第10号の発表について

向こう1か月の主要な病虫害の発生動向についての病虫害発生予察情報及び病虫害防除に関する栽培管理について解説します。

病虫害防除の主な留意点

- ・ これから育苗が始まる水稲においては、塩水選、種子消毒を的確に実施し、健全な苗を育成することが大切です。
- ・ 施設栽培野菜では、トマトの灰色かび病、きゅうりの褐斑病及びべと病、いちごのうどんこ病及び灰色かび病並びにいちごのハダニ類の発生が多くなっています。施設内が過湿になると病害の発生が助長されるので、過湿にならないよう施設管理が重要です。
- ・ 果樹では、春以降の病虫害を効率的に防除するため、休眠期の中に園内の伝染源の除去、萌芽前後や新梢伸長期の薬剤防除などの適切な管理が重要です。
- ・ 病虫害の発生は天候の影響を大きく受けます。気象庁発表の1か月予報（2月12日発表）では、気温が平年より高く、降水量は平年並又は多いと予想されているので、春に向けて病虫害の発生動向に注意が必要です。
- ・ 都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。

用語の解説

発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅
（平年値は過去10年間の平均）

地域

- ・ 北海道：北海道

- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

水稻

- ・ 育苗は、健全種子の使用と種子消毒を徹底してください。
- ・ 育苗期にいもち病、ばか苗病などの種子伝染性病害の発生を防ぐため、これらの種子伝染性病害が発生した、又は病害に汚染されている可能性のあるほ場から採種した種子の使用は避けるとともに、塩水選、種子消毒を的確に実施してください。
- ・ なお、生物農薬や温湯浸漬による消毒を行う場合は、温度管理等それぞれの留意点を把握し実施してください。

野菜・花き

露地栽培

- ・ 現在のところ露地栽培野菜で発生が問題となっている病害虫は確認されていません。しかし、向こう1か月は気温が平年より高く、降水量が多いと予想されており、病害虫の発生動向に注意が必要です。
- ・ ほ場観察を行って病害虫の早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に薬剤防除を実施してください。

(今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域)

作物名／病害虫名	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
キャベツ／		
菌核病		中国
たまねぎ／		
白色疫病	四国	北九州

(2 / 7)

レタス／		
菌核病	北九州	

施設栽培

- ・ 冬期間は、施設栽培では夜間加温が行われることから、病害虫が発生しやすい環境となっています。
- ・ 施設内が過湿になると病害の発生が助長されるので、施設周辺に排水路を整備して雨水が施設内に入らないように留意し、作物の株間の通風を図る等、過湿にならないように施設を管理してください。
- ・ 病害の伝染源となる罹病葉や罹病果は施設外に除去して土中に埋める等、確実に処分してください。
- ・ 春先の温度上昇に伴って施設内の害虫も増加するので、ほ場観察による早期発見に努め適期に薬剤防除を実施してください。

(トマト)

- ・ **灰色かび病**の発生は、関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、四国及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、施設内が過湿になると発生が助長されるので、作物の株間の通風を図る等、過湿にならないよう施設を管理してください。また、本病の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。

(きゅうり)

- ・ **褐斑病**の発生は、四国及び南九州の一部地域で「多い」、北関東及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、施設内が過湿及び窒素過多で発生が助長されるので、株間の通風を図る等、過湿、窒素過多にならないよう施設を管理してください。また、ほ場観察により発病を認めたら、早期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **べと病**の発生は、南九州の一部地域で「多い」、東海、四国及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、施設内が過湿になると発生が助長され、急激にまん延します。ほ場観察により発病を認めたら、早期に薬剤防除を実施してください。

(いちご)

- ・ **うどんこ病**の発生は、南関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北関東、東海、近畿、四国、九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、多発すると防除が困難なので、ほ場観察により発病を認めたら、早期に薬剤防除を実施してください。また、窒素過多や、葉が混み合うと多発しやすくなるので、適切な栽培管理を実施してください。
- ・ **灰色かび病**の発生は、関東、東海、四国及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、施設内が過湿となると発生が助長されるので、株間の通風を図る等、過湿にならないよう施設を管理してください。また、本病の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。

- ・ **ハダニ類**の発生は、関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、東海、四国及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本害虫は、発生密度が上昇してからでは防除が困難なため、早期発見に努め、発生初期での薬剤防除を実施してください。

(今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域)

作物名／病害虫名	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
トマト／		
疫病	南九州	関東
灰色かび病	関東	四国、南九州
葉かび病		東海
コナジラミ類		関東、北九州
なす／		
灰色かび病		東海
アザミウマ類		東海、北九州
コナジラミ類	四国	北九州
ピーマン／		
アザミウマ類	南九州	北関東
アブラムシ類	四国	
コナジラミ類	四国	
きゅうり／		
うどんこ病		東海、南九州
褐斑病	四国、南九州	北関東、北九州
灰色かび病		東海、四国
べと病	南九州	東海、四国、北九州
アザミウマ類		四国、北九州
コナジラミ類	北関東	南関東、南九州
いちご／		
うどんこ病	南関東	北関東、東海、近畿、四国、九州
灰色かび病		関東、東海、四国、北九州
アブラムシ類		南関東、東海
コナジラミ類	南関東	北関東

ハダニ類	関東	東海、四国、南九州
------	----	-----------

果樹

- ・ 果樹の病害虫を効率的に防除するには園内の伝染源を取り除くとともに、萌芽前後や新梢伸長期の薬剤防除が重要です。
- ・ 病害対策として、カンキツかいよう病やカンキツそうか病などの常緑果樹（かんきつ）の病害は、越冬病斑が一次伝染源となります。また、昨年、発生が多かったなし黒星病、ぶどうべと病などの落葉果樹の病害は、罹病落葉や罹病枝が一次伝染源となります。
- ・ 一次伝染源となる罹病落葉や罹病枝葉の除去や枝幹病患部の削り取りを徹底するとともに、萌芽前後からの早期防除による初期感染防止を行い、適切な管理を実施してください。
- ・ 害虫対策として、ハダニ類やカイガラムシ類の発生が多かった園地では、越冬量を減少させるため、粗皮削りやマシン油剤散布等による適切な管理を実施してください。

茶

- ・ 赤焼病の常発園では、早期発見に努め、適切な薬剤防除を実施してください。
- ・ また、カンザワハダニの発生状況をよく観察し、多発が予想される園では一番茶前の防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成21年11月12日以降、各都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は下記のとおりです。

警報

発表なし。

注意報

発表月日	都道府県名	作物名	病害虫名
12月3日	熊本県	いちご	うどんこ病
12月8日	愛知県	なす きゅうり	ミナミキイロアザミウマ
12月14日	東京都	ねぎ	べと病
12月15日	長崎県	きゅうり	べと病
12月15日	長崎県	いちご	うどんこ病
12月16日	神奈川県	いちご	うどんこ病

(5 / 7)

12月22日	大分県	白ねぎ	べと病
1月27日	栃木県	トマト	灰色かび病
1月29日	鳥取県	ラッキョウ	白色疫病
2月8日	愛媛県	たまねぎ	白色疫病
2月12日	長崎県	たまねぎ	白色疫病

■ 特殊報

発表月日	都道府県名	作物名	病害虫名
11月12日	山形県	宿根かすみそう べにばな	アシグロハモグリバエ
11月12日	埼玉県	茶	ミカントゲコナジラミ
11月13日	長野県	きゅうり	キュウリホモプシツ根腐病
11月25日	長野県	なし 西洋なし	ナシ赤衣病（仮称） セイヨウナシ赤衣病（仮称）
11月30日	兵庫県	きく	キク茎えそ病
12月2日	静岡県	さつまいも	ヨツモンカメノコハムシ
12月2日	神奈川県	なし	キクイムシ類
12月3日	広島県	きゅうり メロン	キュウリ退緑黄化病 メロン退緑黄化病
12月7日	茨城県	きゅうり メロン	キュウリ退緑黄化病 メロン退緑黄化病
12月10日	岐阜県	茶	ミカントゲコナジラミ
12月21日	群馬県	りんご	スモモヒメシンクイ
1月7日	熊本県	トマト ミニトマト	トマト葉かび病
1月15日	愛知県	食用ミニバラ	バラハオレタマバエ
1月19日	群馬県	レタス	レタス根腐病
1月19日	山口県	きく	キクわい化病
1月20日	熊本県	すいか	スイカ退緑えそ病（仮称）
1月21日	和歌山県	えんどう	エンドウ萎凋病
1月26日	宮城県	なし	ヒメボクトウ
1月26日	宮崎県	きく	キク茎えそ病
2月1日	高知県	きゅうり	キュウリ退緑黄化病

2月1日	鹿児島県	ハウスミカン マンゴー	チャノキイロアザミウマ
2月3日	鹿児島県	しょうが クルクマ	青枯病
2月5日	高知県	すいか	スイカ退緑えそ病（仮称）
2月9日	埼玉県	ほうれんそう	ハコベハナバエ
2月12日	山梨県	ダリア	ポテトスピンドルチューバーウイルスによる病害
2月16日	宮崎県	マンゴー	チャノキイロアザミウマ
2月17日	岐阜県	トマト	トマト萎凋病

＜平成21年度の病虫害発生予報の発表日＞

- 第1号：4月23日（木曜日）・・・発表済み
第2号：5月14日（木曜日）・・・発表済み
第3号：6月11日（木曜日）・・・発表済み
第4号：7月9日（木曜日）・・・発表済み
第5号：7月23日（木曜日）・・・発表済み
第6号：8月6日（木曜日）・・・発表済み
第7号：9月10日（木曜日）・・・発表済み
第8号：10月8日（木曜日）・・・発表済み
第9号：11月12日（木曜日）・・・発表済み
第10号：2月18日（木曜日）・・・今回発表

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課
担当者：防除班 大岡、金武
代表：03-3502-8111（内線4562）
ダイヤルイン：03-3502-3382
FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL
<http://www.maff.go.jp/j/press/>